

# 図書館報

75号

平成17年9月30日発行

## 目次

巻頭言 .....	2
情報検索 (CiNii) の使い方 .....	3
投 稿	
・「読書」が「豊かな人間性」と結ばれる時・・・ 内藤 一志 (函館校・教授) .....	8
・大切な時間 代 一龍 (札幌校・留学生) .....	9
・本を見つけるという大切さ 東 美穂 (旭川校・学部生) .....	10
・図書館の思い出 猪股 耕史 (岩見沢校・学部生) .....	11
第Ⅱ期北海道教育資料収集事業を終えて .....	12
附属図書館からのお知らせ .....	14
図書館統計 .....	15
附属図書館ホームページについて .....	16



## 進化する図書館

附属図書館旭川館長 安藤 豊

### 情報リテラシー教育

大学の法人化を契機に業務運営に関する目標が策定されるようになった。附属図書館に関するそれには様々な目標計画が立てられたが、その第一に立てられている項目が「情報リテラシー教育に関する計画」である。

詳しいことは判らないが、「図書館の使い方」を「図書館が教える」という着想は、大学図書館に限らず、最近のことに属するのではないかと思う。私も学生時代、図書館学2単位なるものを取得した。デューイデシマルなんとかとニッポンデシマルなんとかの二つ覚えておけば2単位くれるというので受講した記憶がある。Dewey Decimal Classification と Nippon Decimal Classification のことである。しかし、これでは図書館を使えるようにはならない。

私は昭和39年に大学生になったが、私たちの世代は図書館の使い方を自分で学んだ。カードの読み方は無手勝流で覚えた。手探りで文献や雑誌の検索方法を身につけた。図書館の職員の作業を見て身につけたテクも結構あった。

しかし、情報が氾濫する社会になり、しかもインターネットという情報媒体が発達するようになった現在は、そうはいかないということのようである。たしかに、卒業論文に付き合っていると、図書館をほとんど使ったことのないらしい学生がいて、図書館の使い方をそれ自体として教える必要を感じる。そして、この時期に至ってやっと図書館の使い方（検索の仕方）を教えているのが実情である。

### 図書館に訊け

立命館大学の図書館に勤務する井上真琴の著書『図書館に訊け』（ちくま新書、04年）に接する機会があった。学生に大学図書館の使い方を徹底ガイドするといった趣の本である。私にガイド本としての水準を計る器量がないのでそれは措くが、利用のためのルール（著者は「利用のための文法」と命名している）を懇切に解説していて勉強になった。いま、大学でそれとして情報リテラシー教育を教えるところが増えているらしい。その専門家も育ちつつあるようである。

「インターネットに飛びつくひとたち」と題する小項目があって—これは私も大いに気になっていることなのだが—レポートをネット情報のコピー&ペーストで加工作成してしまうという事態があって、それは図書館以前の問題として問題だという。これは情報の質にかかわる教育問題であり、図書館の存在意義に関わる問題でもあるのだという。情報の質を教えるために情報リテラシー教育で、コンピューターを使わせないで、百科事典の引き方からはじめるカリキュラムも行われているらしい。校閲を経ない情報のいかがわしさを教えることも必要だという。検索技術だけではないリテラシー教育の構想が必要らしい。

### 進化する図書館

このような初歩的なリテラシー教育に加え、図書館自体が起業教育などの生涯教育の場であり、情報発信基地として機能を変えているとの報告もある（菅谷明子『未来をつくる図書館』岩波新書、03年）。

図書館は進化しつづけている。

# CiNii を使って論文をさがそう！

## CiNii (サイニイ) でできること

### 1. 学術論文の検索ができる

日本国内の学会・大学等で刊行した学術雑誌に掲載された論文情報を検索できます。

### 2. 論文本文(全文・抄録)の閲覧ができる

現在約210万件の論文(全文)を閲覧・印刷することができます。

### 3. 引用文献を参照できる

引用—被引用関係にある論文同士がリンクされているので、引用文献を辿って関連ある文献を探すことができます。

### 4. 自宅からも利用できる

本学の教職員・学生は、サイトライセンス個人IDを取得(無料)すると自宅からも利用できます。

## CiNii に収録されているデータベース

◇電子図書館サービス：NII-ELS (国立情報学研究所)

◇引用文献索引データベース：CJP (国立情報学研究所)

◇研究紀要目次速報データベース=研究紀要ポータル：NII-ELS (国内大学の共同作成)

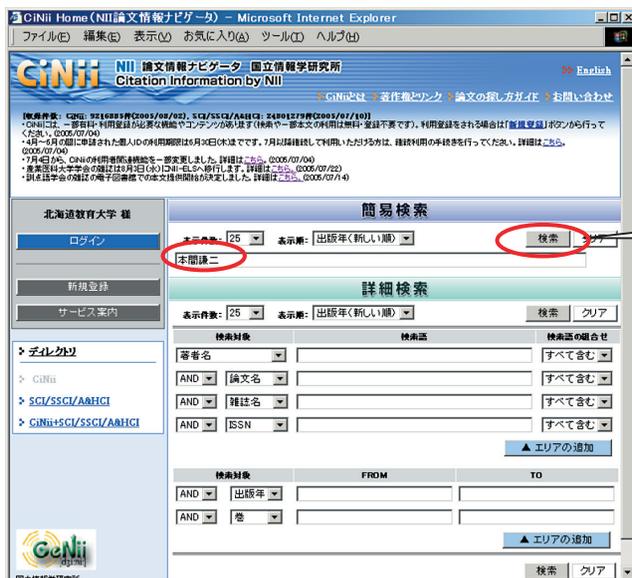
◇雑誌記事索引データベース：NDL (国立国会図書館)

◇Citation Index (Thomson Scientific 社) **登録制・有料** などがあります。

## CiNii (サイニイ) の使い方

1. 図書館ホームページあるいは、図書館に設置してある利用者用パソコンの検索メニュー画面の「CiNii」をクリックします。

2. CiNii が表示されたら、検索語を入力し、「検索」ボタンをクリックします。



### 簡易検索

登録データのすべてが検索対象となります。複数のキーワードをスペースで区切って入力すると、AND 検索になります。

クリックします。

### 詳細検索

検索対象や検索語の組合せ方法(AND または OR 検索)、出版年などを指定して、詳しく検索することができます。1つのフィールドに複数のキーワードを入力するときは、スペースで区切って入力します。

3. 検索結果の一覧が表示されます。

論文の一覧は、出版年・著者名・雑誌名・citations 件数の順番に並び替えることができます。

ヒット件数が多い場合は、検索対象(著者名/文献名/雑誌名/ISSN/論文情報/全体)を指定して検索語を入力し、「絞込み」ボタンをクリックしてください。

読みたい論文名をクリックします。



4. 論文の詳細情報が表示されます。

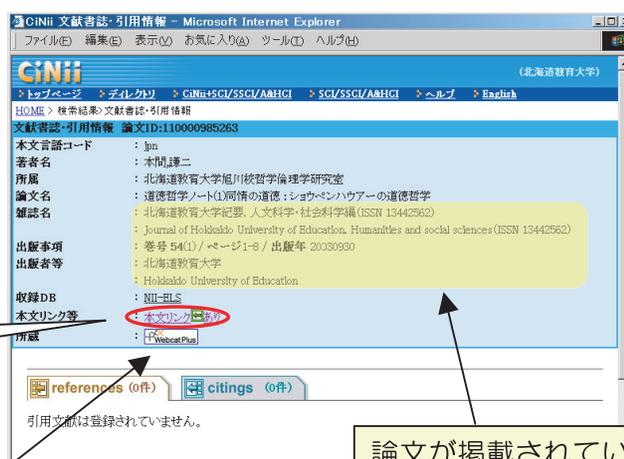
本文言語コード、著者名、論文名、雑誌名、ISSN、掲載巻号・ページ、出版年、収録DBなどが分かります。

「本文リンクあり」の表示がある論文は本文を閲覧・印刷できます。

クリックします。

「Webcat Plus」ボタンをクリックすると、全国のどの大学で所蔵しているか調べられます。

論文が掲載されている雑誌の情報は、論文を入手するためには、この情報が大事!

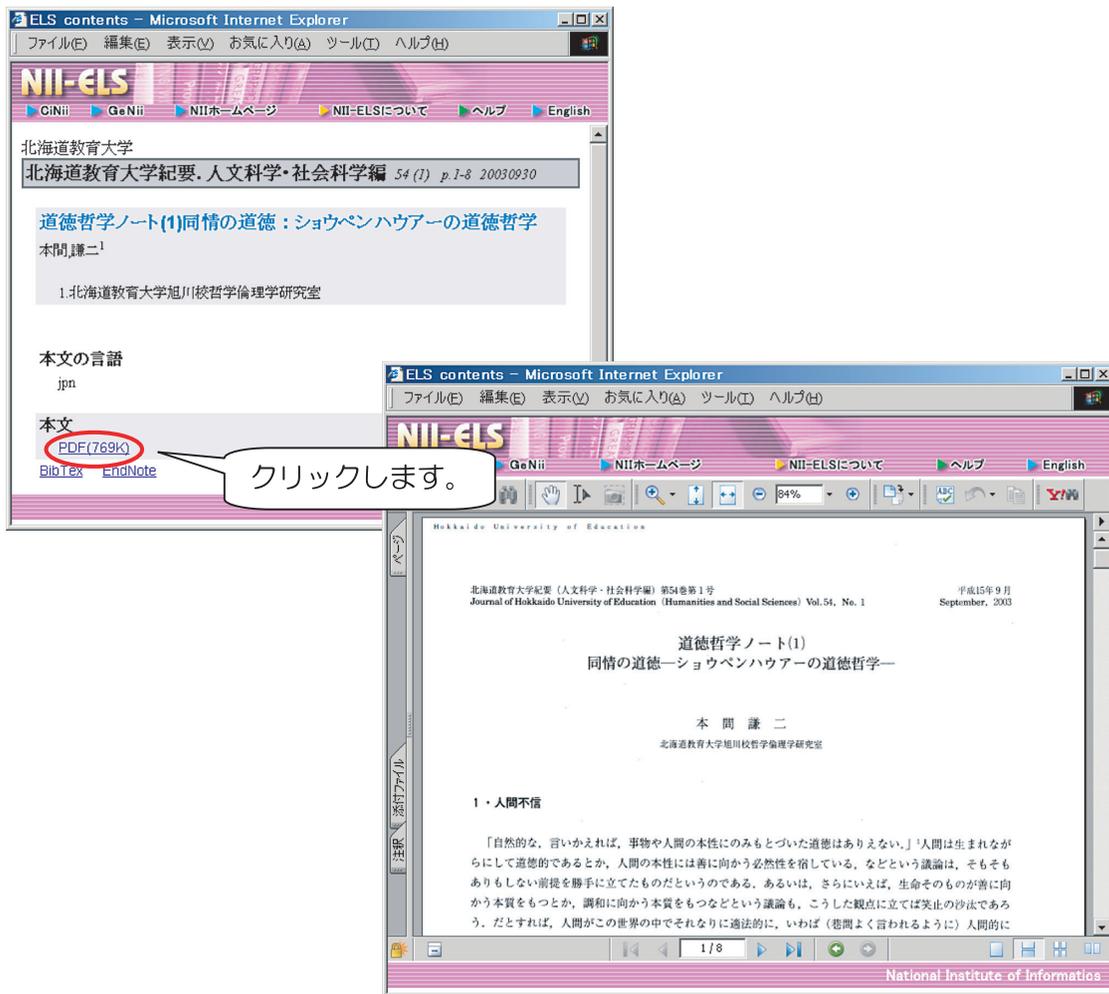


5. ポップアップウィンドウが表示されますので、「本文 (NII-ELS)」をクリックします。

クリックします。



6. 「PDF」をクリックすると論文が表示されます。



7. references について

references とは、表示されている論文の中で、「参考（引用）文献」として紹介されている論文です。

References を辿っていくことで、関連のある論文をさらに見つけることができます。



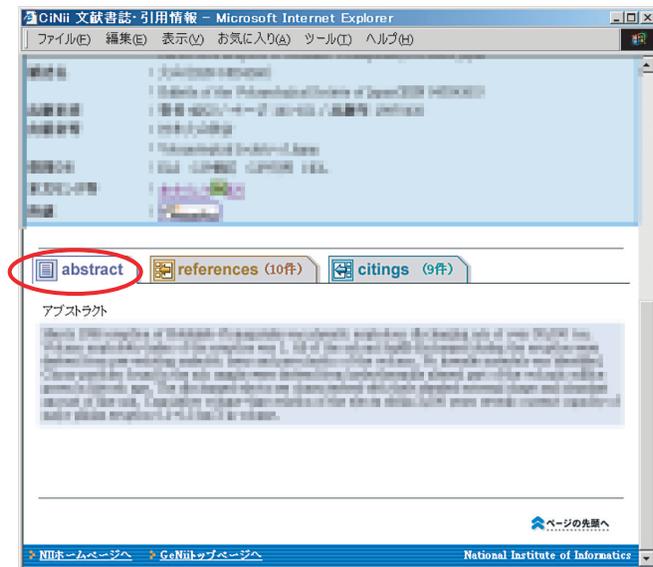
### 8. citings について

citings とは、右の論文を引用している別の論文のことです。

References と同様、辿っていくことによって関連のある論文を見つけることができます。



### 9. abstract について



abstract とは、論文の内容を簡潔にまとめた要約のことです。本文を読まなくても論文の内容がある程度わかるようになっています。

### 10. 表示できない論文について

無料公開されている論文と、機関定額制での利用が許可された論文は、大学構内に設置されたパソコンから無料で閲覧することができます。許可されていない論文を CiNii で閲覧するには、①個人で利用登録して従量利用料を支払う、②利用の度に料金を支払って利用する (PPV)、という2つの方法があります。

本学の学生は、[サイトライセンス個人 ID](#) を無料で取得できるので、利用登録をしたほうが安価に利用できます。さらに、機関定額制で許可された論文については、自宅からも無料で利用できるようになります。

また、表示できない論文を入手する方法として、従来どおり ILL (図書館間相互利用) で必要な論文のコピーを取り寄せることもできます (次項で説明します)。

\* PPV (Pay Per View) : 論文本文の利用料金を、利用の度にクレジットカードで支払う方法。

## 本文を表示できなかった論文を入手するには・・・

CiNii では、現在約210万件の論文本文を閲覧することができます。しかし残念ながら求める論文の全てが閲覧できるとは限りません。そこで入手するためには、その論文を掲載している雑誌の所蔵先を調べる必要があります。

効率よく調べるには、以下のツールと手順で探します。

1. OPAC (本学蔵書目録) で探す
2. Webcat Plus (国立情報学研究所) で探す
3. NDL-OPAC (国立国会図書館) で探す
4. 1～3で見つからなければ、レファレンスカウンターに相談する

OPAC で検索して、求める資料が所属キャンパスに所蔵されていることが分かったら、所在場所に行って閲覧することができます。資料の探し方が分からないときは、カウンターに相談してください。

### 検索結果のみかた (例)

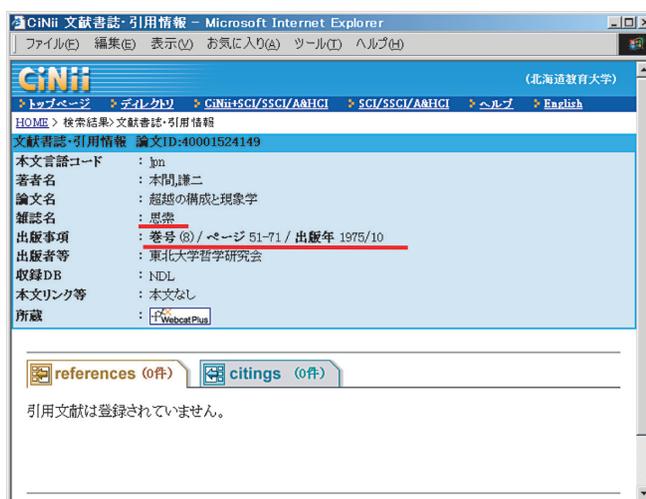
「超越の構成と現象学」という論文は、『思索』という雑誌の第8号、51-71ページに掲載されており、1975年10月に発行された、ということが分かります。

ですから『思索』の第8号がどこにあるかを調べることになります。

### 検索のコツ

OPAC、Webcat Plus、NDL-OPAC 等で所蔵館を探すときには、雑誌名で検索しましょう。

論文名や著者名で検索しても見つかりませんので注意！



## 論文を取り寄せるには・・・

求める資料が所属キャンパスにないときは、他キャンパスおよび他大学等の図書館から必要部分の複写を取り寄せることができます。申し込み方法は、「文献複写申込書」を記入してカウンターに提出すればOKです。所蔵館が不明でも申し込み可能です。

学内から取り寄せ：(公費) 複写料 1 枚10円 (郵送料なし)

：(私費) 複写料 1 枚20円 (郵送料なし)

学外から取り寄せ：複写料 (単価は機関によって異なる) + 郵送料



## 「読書」が「豊かな人間性」と結ばれる時・・・

内 藤 一 志  
(函館校・教授)

本学に在籍している多くの学生諸君が、学校図書館司書教諭の資格取得を予定していると思う。私が勤務している函館校でも、1学年あたり約100名が受講している。

私は、資格取得に必要な5科目のうち、2科目を担当しているのだが、そのひとつが表題と関連する「読書と豊かな人間性」である。

私はこの授業の冒頭で「読書と豊かな人間性は連動しない」と、科目名を否定することから始めることが多い。受講者の多くが「読書」と「豊かな人間性」が深く結びつくことを信じて疑わないことが多いからだ。その講義内容にここで深く立ち入ることはしないが、私の思いは、

「本当にそうなのだろうか。」の一言に尽きる。「人間性」などというものは、多くの要因の中で形成されるものじゃないだろうか。仮に「読書」がその要因のひとつで、また関与する度合いが深

いにせよ、「豊かな」と方向付けられるなんて、「読書」にしてもいい迷惑なはずだし、現在の子どもらが触れる本やメディアの状況はこの方向性を脳天気を受け入れられるものなのだろうか。

先の司書教諭科目だけでなく、「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「文字・活字文化推進法」など、この数年で「読書」を直接的な対象とする法令が誕生している。特に前者は「読書」と「豊かな人間性」が連動することを前提として、だから「読書よ!」というものである。

こんな現象はどこか変だよなあ、と思う昨今なのだ。

最後にPR。ここで述べた「読書」に関する教育施策についての論議を含め、この8月に同僚らと『学校図書館・教師・学習』(長門出版社)を刊行した。ご一読頂ければ幸いである。



## 大切な時間

代 一 龍  
(札幌校・留学生)

私は小説が好きで、中古本屋も図書館も大好きである。なぜかという、中古本屋の本が安く買える、図書館の本がただで読めるからである。私はただで人に本を読ませるのは、作者たちに怒られるかなと昔から思っている。しかし、そう思いつつも、教育大図書館で、大量に本を借りていた。もしかして自分が学校で一番借りているかとも思っていたりする。勤勉賞とか「あなた今年一番頑張った利用者だよ」と書かれた手紙は、いまだに來ない(期待はずれ)。

一年生のころ、図書館の利用の仕方があまりわからなかったから、よくカウンター係りに教えてもらった。「あなたは日本語上手ですね」とか、「日本人の学生だと思った」とかよく褒めてくれた(照れていた)。最近誰も褒めてくれないからさびしい。

私は図書館でいろいろ大切な時間を送っていた。締め切り30分前、窓際の席で必死にレポートを書いたとき。目覚めて、隣の席のいびきする学生の顔を笑っちゃったとき。電話が鳴ったので、図書館を急いで出て、延滞図書のカンファームを受け取ったとき。悲鳴を聞いて、夏の虫に襲われる女の子

を助けたとき。勉強に疲れて、窓から見たあいの里の夕方の雲が、いつも哀愁を漂わせて流れていたとき。雨の音を聞きながら、もう一度日本語原文の川端康成を読んだとき。いずれも忘れられない。

少年時代はこんなにすきなだけ本が読めなかった。地元の図書館の規模はとても小さかったから、本数が少ないし、しかも新書がほとんど入ってこない。そこで、子供の頃の私は中国訳の「窓際のトットちゃん」を何回も読んだことがある。貧しい家庭だったので、好きな本を親に買ってもらえなかった。しかも学校にはもちろん図書室がなかったし、好きな小説が読めない日々が辛かった。たまたま友達に本を借りて、急いで授業中に読んでいて先生につかまって、泣いたことがある。

やっと中国の都会の大学に進学して、そこに大きい図書館があって、興奮していた。しかし、その図書館の係りの人の態度がひどかった。図書館へいくたび緊張していた。それでも、図書館の隅で、「伊豆の踊り子」を読んだとき、涙を流した。

選択が出来るなら、私は図書館の隣に住みたい。



## 本を見つけるという大切さ

東 美 穂  
(旭川校・学部生)

カウンターに座っている人にあこがれていて、縁がありこの仕事をする事が出来てからはや3年……。初めは大学の図書館持ち出し禁止のゲートがあることに驚いて、持ち出す人がいるのかとすこし怖くなっていました。けれど、専門的な本も数多くありますし、鞆を持ち込むことができるの方が利用者さんには都合のよいことなのだとだんだんわかってきたように思います。このような感じでアルバイトではありますが楽しく、社会勉強をさせていただいています。

私は昔から本が好きで公共図書館に通っていましたが、勉強することに使うという本は大学に入ってから探すようになったように思います。大学でもあまり図書館を利用していないという人が私の周りにもいますが、レポートなど強制的でも一度図書館に足を運んでみると探していた本の隣におもしろそうなタイトルの本が見つかったりします。また、パソコンで検索することで、新たな分野での本を見つけられる事があります。また、

古い本もたくさんあり書庫も3つもありその存在を知らない人もたくさんいるようで(私も働くまでしりませんでした)もっと利用してみしてほしいです。そんなたくさんの本に囲まれて私も本を配架している時にいつも興味を引かれるタイトルの誘惑に負けそうになります。

そして私は学外の方に思うことがあって今インターネットの普及の中で、本がどこの図書館にあるのかなど、リンクなどで横断的に検索できたりなど様々な形でつながりが出来ています。大学図書館に勇気を出してきましたという学外の方がいますが、堂々と図書館を利用してほしいなと思います。

最後にめまぐるしく変化する世の中でベストセラーと言われる本ばかりが取り上げられています。それらの本だけでなく自分が必要とする本・興味のある本を見つけられることが大切だと思います。そのために、たくさん本がある図書館はいつまでも必要とされてほしいと思います。



## 図書館の思い出

猪股耕史

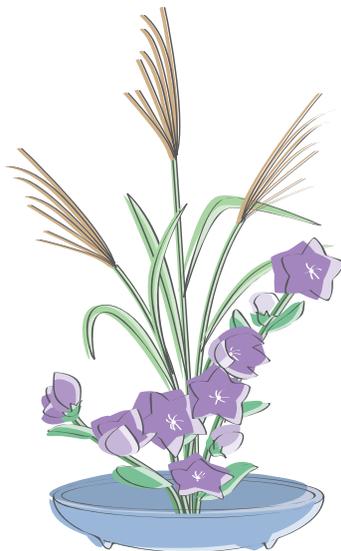
(岩見沢校・学部生)

私が図書館でのアルバイトを始めてから早いもので、すでに2年と数ヶ月が過ぎました。私が大学生活4年間で、自分の部屋以外で一番長い時間を過ごしたのは、間違いなく図書館です。おかげで、もともとそれほど本を読む人間ではなかった私も少しずつではありますが、読書の楽しみを知るようになりました。もちろん読書の楽しみ方は人それぞれですし、本の内容にもよりますが、物語の中に入り込み、主人公に感情移入することもその1つではないかと思います。

図書館の魅力は、大きく分けて2つあると思います。1つ目は、知識や情報を無料で得ることが

できるということです。近年では図書だけではなく、映像、音楽、インターネットなどからさまざまな知識・情報を得ることが可能になっています。2つ目は自分の世界に浸ることができるということです。図書館には、静かで知的でミステリアスで、ずっと惹きこまれてしまうような不思議な雰囲気があります。

私は図書館で働くことを通して、ここで働かなければ決して得ることのできなかった新たな知識を得ることもできましたし、さまざまな人々と知り合うこともできました。その意味で、有意義な時間を過ごすことができました。



## 第Ⅱ期北海道教育資料収集事業を終えて

第Ⅱ期北海道教育資料収集小委員会委員長  
新 田 和 幸  
(岩見沢校)

北海道教育大学における北海道教育資料収集事業(第Ⅰ期)が開始されたのは、昭和53年度のことである。

教育資料を組織的、計画的に収集し、本学の学生、教員のみならず、広く教育関係者が利用できる態勢を整えることを、重点課題としたのである。まさしく、本学図書館としての本来的な責務を担う事業といえる。

この事業は、平成10年度までの約20年間にわたって精力的に取り組まれた。

事業経費は、本学予算、文部省予算および奨学寄付金に依り、その予算総額は69,744千円にのぼった。全道から多くの資料が寄せられ、収集した資料点数は、78,800点に及んだ。これらのうち、とくに散失が懸念されていた戦前・戦中・終戦直後の教科書・読本類や実践記録等の収集は、時宜にかなった貴重な成果といえる。

これらの成果を受けて、図書館運営委員会は「第Ⅱ期」の収集整備計画をたて、平成11年度からさらに6カ年間の収集継続を決定した。「第Ⅱ期計画」は、人的・予算的制約から、収集範囲を小中学校の記念誌・沿革誌(史)類、教科書・副読本等に限定し、その収集を円滑に推進するために「教育資料収集小委員会」を設置した。

この6年間、私たち「小委員会」は、各構成館の実態に即して、無理をせず地道に続けるとの基本姿勢を貫いた。

文末に掲げる「収集数」に係る資料は、その成果の一端を示すものである。もちろん「第Ⅱ期」の事業は、「第Ⅰ期」と比べると小さなものがある。しかし、内容的には「第Ⅰ期」の基本路線を継承し続けた跡を、さまざまに確認できる。

たとえば、戦前～終戦直後の教科書については、「第Ⅰ期」に引き継ぎ貴重な資料群を追加している。また、学習指導要領改訂にともない各地の学校・教育研究所等で編纂された副読本の類においても、北海道内の多様で豊かな教育の営みをつかみ取るための必要不可欠な材料を蓄積することができた。

収集スペース、人手、予算の面で十分とはいえない(これが各館共通の悩みであった)状況下で、地道に活動を継続できたのは、各館の小委員ならびに職員の献身的な努力の故と感謝している。

本年6月に開催された「平成17年度第1回図書館運営委員会」席上、各運営委員から、貴重な資料がまだまだ発掘される可能性を指摘する意見が少なからず出された。運営委員会として、「教育資料収集事業は、これまでの成果をふまえて、今後は特別の態勢をとらずに、各館の日常業務の中でさらに継続する」ことを確認した。

最後に、北海道教育資料の収集が、図書館事業としてのみならず、教科教育、教育史、地域史など、様々な教育研究領域においても今後ますます意識的に進められることを期待したい。

## 北海道教育資料受入一覧表 (平成11年4月から17年3月)

### 教育資料受入数

対象収集種類	
収集対象資料(1)	本道の小・中学校の記念誌・沿革誌(史)類
収集対象資料(2)	本道の閉校した小・中学校の記念誌・沿革誌(史)類
収集対象資料(3)	本道の学校で使用された現行検定制度以前の教科書
収集対象資料(4)	本道の学校で使用された暫定教科書
収集対象資料(5)	本道の小・中学校で使用された副読本
収集対象資料(6)	本道の教育団体の刊行資料
収集対象資料(7)	本道の生涯教育(社会教育を含む)に関する資料

### 館別収集数

	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館	合計
収集対象資料(1)	61	8	29	12	31	141
収集対象資料(2)	9	16	18	6	8	57
収集対象資料(3)	67	0	0	0	0	67
収集対象資料(4)	61	0	0	0	0	61
収集対象資料(5)	383	18	45	33	24	503
収集対象資料(6)	47	13	8	16	2	86
収集対象資料(7)	9	0	3	2	4	18
受贈小計(冊数)	637	55	103	69	69	933
購入小計(冊数)	362					362
計	999	55	103	69	69	1,295
逐次刊行物(種類数)	124	23	65	15	35	262

### 全館年度別収集数

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	計
収集対象資料(1)	82	5	5	20	4	25	141
収集対象資料(2)	4	1	0	0	51	1	57
収集対象資料(3)	0	0	46	17	1	3	67
収集対象資料(4)	25	3	10	23	0	0	61
収集対象資料(5)	11	0	4	475	11	2	503
収集対象資料(6)	34	16	14	3	7	12	86
収集対象資料(7)	11	2	2	1	2	0	18
受贈小計(冊数)	167	27	81	539	76	43	933
購入小計(冊数)	97	104	59	37	42	23	362
計	264	131	140	576	118	66	1,295
逐次刊行物(種類数)	108	44	67	31	12	0	262

### 「参考資料」 平成11年度 寄贈依頼数

	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館	合計
小学校	368	172	395	242	272	1,449
中学校	184	73	154	118	140	669
小・中併置校	8	7	37	29	4	85
教育団体	183	37	184	97	119	620
生涯(教育)団体	39	11	62	26	49	187
道内教育研究所	11	5	6	18	9	49
道庁(教育局+生涯)	30					30
市町村教育委員会	30	27	69	35	51	212
同窓会	1	1	1	1	1	5
合計	854	333	908	566	645	3,306

御寄贈有り難うございました

## 附属図書館からのお知らせ

### 全 館

- ・北見サテライト院生の研究支援のため、研究活動に利用する図書、複写については無料で提供することになりましたのでお知らせします。

### 札 幌 館

- ・図書館入口に学内出版物コーナーを設置しました。全キャンパスの出版物が閲覧できますのでご利用ください。
- ・10月～12月に文献検索講習会を実施します。卒業論文・修士論文の作成に必要な文献検索と入手方法をメインに説明しますので、ぜひご参加ください。日程・内容については掲示・ホームページでお知らせします。

### 函 館 館

- ・最近図書の配架が乱れています。図書館の本はすべて請求記号順に並んでいます。(分類記号、巻冊記号は数字が大きい図書が右に、著者記号はアルファベット順に) 使い終わったら、もとの位置に戻すようお願いいたします。

[図書ラベルの請求記号表示]

375.8	→	375.8	→	376.8	← 分類記号
KO52		MO32		MO32	← 著者記号
1					← 巻冊記号

### 旭 川 館

- ・2階視聴覚ブースで放送大学の番組視聴ができるようになりました。ご自由にご利用ください。
- ・平成17年度市内小学校で使用の教科書、指導書を揃えました。ご利用ください。
- ・平成17年度シラバス掲載資料 (テキスト、参考書) について整備を行いました。

### 釧 路 館

- ・今年度より常設展示コーナーを設置しました。  
いままで「釧路湿原」「シラバス参考図書」「DVD 特集」、9月は「教育実習」というテーマで展示しました。これからも毎月さまざまなテーマで提供していきますので、どうぞご覧ください。

### 岩 見 沢 館

- ・学習指導要領を探しやすいように教科書の隣に別置しました。
- ・学生希望図書を募集しています。ご希望の本がありましたら、ぜひリクエストしてください。リクエストボックスはカウンターに設置してあります。

### 附属図書館利用統計(平成16年度)

項 目		全 館	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館
開 館 日 数 ( 日 )			341	345	339	343	341
内 訳	開 館 日 数 ( 平日 )		238	242	238	238	234
	開 館 日 数 ( 休日 )		103	103	101	105	107
入 館 者 数 ( 人 )		466,239	122,301	98,264	110,218	76,690	58,766
内 訳	入 館 者 数 ( 学内 )	453,369	121,120	94,889	104,610	75,431	57,319
	入 館 者 数 ( 学外 )	12,870	1,181	3,375	5,608	1,259	1,447
貸 出 冊 数 ( 冊 )		93,227	22,289	29,400	14,246	15,613	11,679
相 互 利 用	文 献 複 写 ( 受 付 ) ( 件 )	5,070	2,112	1,079	802	711	366
	文 献 複 写 ( 依 頼 ) ( 件 )	5,702	1,689	1,496	1,532	517	468
	図 書 貸 借 ( 貸 出 ) ( 冊 )	3,065	938	692	513	512	410
	図 書 貸 借 ( 借 用 ) ( 冊 )	3,344	821	892	881	392	358

### 附属図書館所蔵統計

平成17年4月1日現在

項 目		全 館	札幌館	函館館	旭川館	釧路館	岩見沢館
所 蔵 数 ( 冊 )		959,037	245,377	238,984	170,630	163,614	140,432
内 訳	和 書	840,369	212,245	207,212	149,666	147,040	124,206
	洋 書	118,668	33,132	31,772	20,964	16,574	16,226
分 類 別	総 記 ( 和 書 )	84,649	33,808	28,457	6,501	10,073	5,810
	総 記 ( 洋 書 )	8,762	3,361	1,673	1,442	1,261	1,025
		93,411	37,169	30,130	7,943	11,334	6,835
	哲 学 ( 和 書 )	58,237	13,232	14,003	11,879	10,340	8,783
	哲 学 ( 洋 書 )	14,031	3,515	3,491	3,279	2,097	1,649
		72,268	16,747	17,494	15,158	12,437	10,432
	歴 史 ( 和 書 )	88,160	21,677	19,647	16,531	18,063	12,242
	歴 史 ( 洋 書 )	8,217	2,080	1,654	1,825	1,512	1,146
		96,377	23,757	21,301	18,356	19,575	13,388
	社 会 ( 和 書 )	257,665	62,918	60,161	48,692	42,579	43,315
	社 会 ( 洋 書 )	25,805	8,753	6,208	4,688	3,592	2,564
		283,470	71,671	66,369	53,380	46,171	45,879
	自 然 ( 和 書 )	96,096	22,764	19,529	21,128	17,623	15,052
	自 然 ( 洋 書 )	18,852	4,043	6,820	3,262	1,906	2,821
		114,948	26,807	26,349	24,390	19,529	17,873
	工 学 ( 和 書 )	29,726	6,905	8,462	4,676	5,288	4,395
工 学 ( 洋 書 )	1,891	789	444	307	261	90	
	31,617	7,694	8,906	4,983	5,549	4,485	
産 業 ( 和 書 )	22,702	5,995	5,682	3,502	3,542	3,981	
産 業 ( 洋 書 )	1,315	476	388	216	109	126	
	24,017	6,471	6,070	3,718	3,651	4,107	
内 訳	芸 術 ( 和 書 )	58,536	12,823	13,447	11,974	9,916	10,376
	芸 術 ( 洋 書 )	6,391	2,410	1,060	865	562	1,494
		64,927	15,233	14,507	12,839	10,478	11,870
	語 学 ( 和 書 )	33,138	8,163	8,565	5,402	5,891	5,117
	語 学 ( 洋 書 )	12,797	3,392	4,119	1,641	1,679	1,966
		45,935	11,555	12,684	7,043	7,570	7,083
	文 学 ( 和 書 )	111,460	23,960	29,259	19,381	23,725	15,135
	文 学 ( 洋 書 )	20,607	4,313	5,915	3,439	3,595	3,345
	132,067	28,273	35,174	22,820	27,320	18,480	

## 附属図書館ホームページについて

本学附属図書館は、札幌館、函館館、旭川館、釧路館、岩見沢館で構成されています。

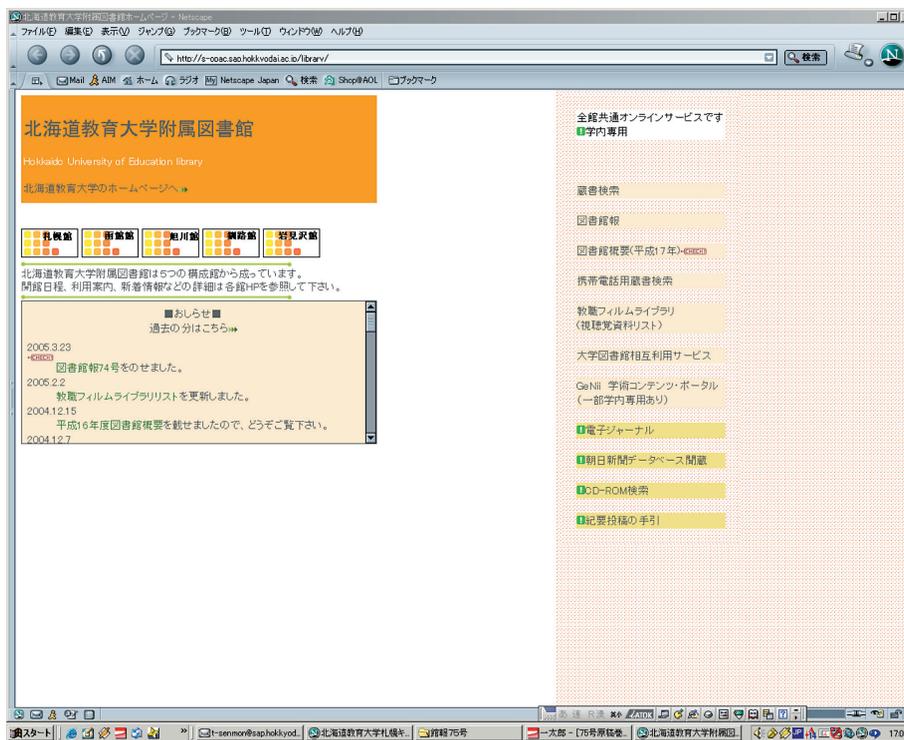
ホームページは各館で作成していますが各館のポータルとして、附属図書館のホームページについて紹介します。

附属図書館のホームページのトップページは下記の画面の様に各館へのリンクと全館共通のコンテンツを掲載しています。

蔵書検索、図書館報、図書館概要、教職フィルムライブラリーリスト並びに大学図書館相互利用サービスはどなたでも閲覧できます。また学内専用のコンテンツとして電子ジャーナル、新聞記事索引「聞蔵」、CD-ROM 検索並びに紀要投稿の手引きを掲載しています。

またトップページからは北海道教育大学へのリンクと各館共通のニュースなどを速報しています。

今後さらに充実していく予定ですが、ホームページに関するご意見、ご要望がありましたらお知らせください。



附属図書館及び各館のホームページアドレスは以下のとおりです。

附属図書館	<a href="http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/">http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/</a>
札幌館	<a href="http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/top.html">http://s-opac.sap.hokkyodai.ac.jp/library/top.html</a>
函館館	<a href="http://www.h-lib.hak.hokkyodai.ac.jp/">http://www.h-lib.hak.hokkyodai.ac.jp/</a>
旭川館	<a href="http://www.asa.hokkyodai.ac.jp/office/tosho/">http://www.asa.hokkyodai.ac.jp/office/tosho/</a>
釧路館	<a href="http://www.kus.hokkyodai.ac.jp/users/library/">http://www.kus.hokkyodai.ac.jp/users/library/</a>
岩見沢館	<a href="http://www.iwa.hokkyodai.ac.jp/~tosho/">http://www.iwa.hokkyodai.ac.jp/~tosho/</a>